

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 14日

事業所名 療育ケアMARINE RAINBOW

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	2		・個別対応可能な空間を仕切りなどで作っています。 ・人数的には問題ないが、特性に配慮したスペース分けなどを改善していきたい。
	2	職員の配置数は適切である	6	4		・利用児童の人数実態に応じて職員を配置している。 ・日曜日の利用が多い時は、職員数が不足と感じる。 →状況に応じて職員を増員し、解消している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	2		・トイレの手すり、手洗い場の高さや形状。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	2		・出勤頻度の少ないスタッフへの細やかな内容は共有できていない。 →非常勤職員への情報共有を周知徹底する。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	1		・初めて実施するため、今後に役立てたい。 →保護者からの訴えがある場合は、スタッフ間で共有し、改善案を出し合うなどして実行できそうなものは実行するなどしている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	5		・開所1年未満のため、今回初めて実施する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		8		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9			
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	10			
適切な 支援の 提供	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	1		・2型営業日の際の事前打ち合わせをもう少し時間が取れると良い。 →予めスケジュールなどを共有できるよう改善している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	1		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8	1		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9	1		・個別と集団遊びは行っているが、利用人数が増加してきた為、その組み合わせや段取りを考える時期にきている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	1		・利用人数が多い際は、特に一人ひとりを気をつけて支援できるように分からない事など事前に確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	1		・振り返りが送迎状況によっては難しい場合がある。また、常勤職員に任せきりになっているところもある。 ・利用児童間でトラブルがあった際は、どうしたら改善できそうか、なぜそのようになったのかを明確にするため振り返りを行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10			・児童の一日の過ごし方や、計画の目標に対する達成度や達成するためにどうかかわっていくのかを記録などから評価している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	2		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	6	2		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	2		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8	1		・必要に応じて行っている。 ・何か変わったことや送迎に関する事など、必要事項は必ず連絡を取っている。また、ご家族より連絡がない場合は、学校とも連絡を取り、トラブル回避につなげている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	4		・医療的ケアが積極的に必要とまではいかないが、血糖コントロールなど、児童の手技見守りはできた。ご家族の指導もあり、スタッフ全体で周知し、実施できている。 ・看護職員配置済み。利用希望者の状況により対応している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	6		・対象者無し。 ・今後、新1年生の利用受け入れを行う際は、連携していく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	5		・対象者無し。 ・どちらとも言えない。新規開設事業所のため事例がない。 ・まだ卒業していないため分からない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	3		・各種研修を依頼し実施しているが、その後の相談連携はあまり出来ていない。 ・どちらとも言えない。 →今後、さらに実施していきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	7		・コロナ禍のため、実施不可。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		6		・コロナ禍のため、実施不可。 ・どちらとも言えない。感染対策の為参加出来ていない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	1		・連絡帳や個別のメール交換にて情報共有できている。 ・顔を合わせる機会が少ない保護者との連絡方法や情報共有について検討していきたい。(HUGでの連絡帳等)
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	8		・情報共有や情報提供は出来ているが、あまり具体的な支援、助言までは至っていない。 →今後、研修等を受講し具体的な支援や助言を強化していきたい。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	1		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	3		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	6		・今後、実施予定。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9			・回覧にてスタッフ間で情報共有し、気づいた点があれば、話し合うことができている。又、その後の支援の中では、より気をつけて関わっていくことが出来ている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	3		・ホームページにてブログ掲載。
	35	個人情報に十分注意している	10			・鍵付きロッカーに保管し、児童が事務室へ入らないように視覚的に境界を示している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4		・コロナ禍のため、実施不可。 ・感染対策の為、実施できていない。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9	1		
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	1		
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10			
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	2		・現在、身体拘束が必要な利用児童はいないが、ご契約の際に、緊急やむを得ない場合について、一時的に行動を制止する場合がありますと説明を行っている。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	1		・保護者の指示に基づき対応している。 ・保護者からの聞き取りで対応。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9			・新規開設事業所の為、現在、事例を収集中。